

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 5 月 28 日

【評価実施概要】

事業所番号	0572307676
法人名	有限会社武光
事業所名	グループホーム秋桜
所在地	秋田県男鹿市弘戸字川向47-2 (電 話) 0185-22-7355
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年5月28日

【情報提供票より】 (平成21年4月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 3人, 非常勤 8人, 常勤換算	3.6人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り
	2 階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 325 円
	夕食	325 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (4月20日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	1	要介護 2	4
要介護 3		要介護 4	2
要介護 5	2	要支援 2	
年齢	平均 83.1 歳	最低 76 歳	最高 88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤医院、香曾我部医院、清水歯科医院、ふただ歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯に隣接した民家改修型のホームで、2階建ての1階部分を居住スペースとしており、2階部分は、事務所や物置等として使用している民家改修型とは思えないゆとりのある造りとなっております。全居室に床の間が配置されており、畳敷きやフロア等の利用者の態様に応じたベッドや家具、テレビ、箆箆等が個々の生活スタイルに合わせ配置され、生活感にあふれており、家庭的雰囲気が随所に見られます。また、前庭の草花が四季の変化を如実に表し、ウッドデッキからの眺望にも自然を満喫でき、夏祭りの演芸披露や他の行事にも利用され、庭に配置したベンチに腰掛け、寛ぐ事もできる等、安心とやすらぎのあるホームです。日勤帯専門職員と夜勤帯専門職員がおり、日々の生活の中で、理念に掲げた5つの項目を利用者と共に実践され、利用者・家族共に信頼と安心を得ているホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価では、ケアサービス項目で語句の統一や情報の共有を求められていましたが、外部評価を活かし、取組まれ、改善されておりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員会議等において、各項目を少しずつ話し合い、管理者が聞き取りを行い記載されています。また、記載内容について、職員の確認が行われております。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	市の福祉事務所職員、民生児童委員3名、町内会長、家族代表2名、ホーム関係者がメンバーとなり、外部評価についてや毎月の活動報告、ケアサービス、身体拘束、高齢者専用賃貸住宅の説明、グループホーム連絡会発足に関する説明、防火体制・スプリンクラーの設置について、介護報酬改正について、地域密着型の課題等々、2か月に1回の会議において、活発な意見交換が行われ、討議内容を活かした取組みが行われております。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時、面会時等に意見や要望を引き出す働きかけが行われ、苦情相談窓口の設置説明や利用方法についての説明が行われています。また、苦情解決等のマニュアルも整備され、ホーム運営に反映されております。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	日頃より、近隣の方々とは、挨拶を交わしたり、立ち寄り等の交流が得られておりましたが、更に運営推進会議を通して、地域の方々の理解が深まり、野菜のお裾わけや除雪のボランティアに近隣の方々の訪問・協力等があり、各種行事への招待をいただいたり、ホーム行事へのボランティアの訪問、地域の方々の招待等によって日常的に連携がとられるようになりました。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的で楽しい雰囲気を持ち、笑顔を忘れず、尊厳を守り、安心して生きがいのある生活、体を優しく動かし役割を持つことを理念に掲げ、地域の中でその人らしく生活できるように事業所独自に取り組まれています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関前の廊下等に掲示され、運営者・管理者・職員が共有され、常日頃より話題にし、職員も自らの言葉で話すことができます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時や通りすがりの方々と挨拶や言葉を交わされたり、野菜をいただいたり、除雪の手伝いをいただく等の近隣とお付き合いの他、地域行事への招待・参加、ホーム行事へのボランティアや招待等が盛んに行われ、年々充実したものとなってきています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、評価を活かし、日々、積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議が、定期的に行われ、ホームのケアサービスや活動報告、介護報酬改正、身体拘束、防災体制、地域密着型としての課題等々について活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村主催の各種研修会への参加による指導・助言をいただいたり、入退所状況の報告を行う等、市町村との連携でサービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や毎月1回請求書送付時に、各担当職員から、日常生活状況や身体・健康状況等が詳細に報告されています。また、金銭の出納状況についても、出納簿のコピーと領収書が送付され、出納状況を明らかにされています。	○	送付していることの記録が確認できるように記録物の保管を期待いたします。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の状況報告時、説明と意見・要望の引き出しが行われています。また、苦情については、契約時に重要事項説明書で説明され、苦情処理マニュアルも整備されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職した職員については、自然に忘れられるように、また、新しい職員は受け入れやすいように話掛けを多く持ち、混乱もなく、受け入れられております。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内が公開され、希望者を募り、参加できるように配慮されています。外部研修に参加した職員から、職員会議やケア会議の場で復命研修が行われ、活用できるように話し合いが行われております。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	男鹿・潟上・南秋地区グループホーム連絡会に参加され、研修や交流等によって、情報交換が行われ、サービスの質の向上に繋がっております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前の見学や話掛けを多く持ち、徐々に馴染めるように取り組まれております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居時や日々の暮らしの中で得た情報や生活歴から、これまでの生き方を理解され、利用者本位の生活支援ができるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように話し合い、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の生活から、思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、職員で話し合い、反映されたケアプランが作成されています。	○	得られた情報の記録を整備され、職員の情報の共有に役立てられることを期待します。また、利用者本位の介護計画となるよう、記入の仕方の工夫を期待いたします。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族等の面会時にプランについての意見や意向を伺い、同意を得て、半年を基準にケアプランが立案されています。また、状態変化時には、随時の見直しが行われております。	○	暫定ケアプランや見直し時のケアプランについて、家族等への説明・同意が得られていない状況です。説明・同意を得るための工夫を期待いたします。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能を活かし、利用者・家族の要望に柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用されていたかかりつけ医や希望の病院受診が出来るように支援されています。また、薬局から、処方薬が届けられ、適切なアドバイスをいただく等、連携が図られています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療行為の必要な方以外は、重度化した場合でもホームで、かかりつけ医と連携を取りながら、できるだけお世話をさせていただき、全員で方針を共有されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、言葉かけや対応に配慮され、尊厳を持って接しております。また、記録にも十分に配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた日課についても、利用者本意の生活支援を念頭に接し、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえのお手伝いをいただきながら、食材の話や調理方法について話されたりして、食事を一緒に楽しませておりました。	○	同一の食事を共に召し上がってはならず、利用者と職員と一緒に食事を楽しむことの意義を理解され、工夫されることを期待します。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	週2回の入浴が、利用者の希望に沿って行われています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、個々の役割として、楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外気浴、近所の散歩、ドライブ、芸能発表、各種の行事等々に、弁当持参で外出することもあり、希望に沿った外出支援が、盛んに行われております。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	利用者の状況に応じて鍵をかけることもありましたが、この1年は、鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自動火災報知が設置されており、年2回の点検時に避難訓練が行われています。また、夜間については、管理者が夜勤専門職員への指導を繰り返して行っており、万全を期しており、近隣の協力も得られるように働きが行われています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握され、食事摂取状況や水分量に配慮され、調理師としての経験を持つ職員によって、栄養バランスのとれた食事が提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や臭い、光もなく、手作りの作品や写真が飾られ、季節の植物が庭いっぱいにはびこり、家庭的な雰囲気を醸し出し、居心地良く快適な共有空間を作り出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	床の間のある居室に畳やフロア、ベッド、ソファ、テレビ、箆笥、手作りの作品、カレンダー、時計等々、それぞれの生活空間を作り出し、居心地良く過ごせるような工夫が観られました。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。